

## 子どもに活力 地域づくり考える

半田・宮池小 教員や市職員らワークショップ



地域の良さや課題について話し合う参加者＝半田市宮池小で

半田市宮池小学校で30日、ワークショップ「みやこっ子パワーアップ大作戦」が開かれた。教員や市職員、福祉関係者ら約60人が参加し、子どもたちに活力

をもたらす地域づくりを考えた。

冒頭、日本福祉大の野尻紀恵教授が現代の子どもを取り巻く環境について説明した。ヤングケアラーや貧困といった問題を抱える子どもは潜在的に多くいる中、学校をはじめとする地域コミュニティが、子どもを支える鍵になると話した。

その後、参加者はグループごとに地域の強みや課題を考えるワークショップに取り組んだ。「祭りを通じた多世代交流がある」「市民活動が盛ん」などと書き出した一方、「複合的な課題を抱えた家庭がたくさんある」「子ども食堂などの支援活動を知らない子どもも多い」とも意見を出し合った。

解決策として「部活動の地域移行の一環として、ボランティア部をつくる」「公共施設をより開かれた場所にする」などと発表した。(山岸弓華)